

ZENworks レポートインテグレーションツールガイド

Novell[®] ZENworks[®] 10 Asset Management SP2

10.2

2009年5月27日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008-2009 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します。

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル : 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインヘルプにアクセスする場合は、[Novell Documentation \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) の Web ページをご覧ください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	7
1 最小要件	9
1.1 ZENworks レポーティングサーバの要件	9
1.2 インストールユーザの要件	10
2 ZENworks レポーティングサーバのインストール	11
2.1 ZENworks インストールの理解	11
2.2 インストール前のタスク	11
2.2.1 最小要件を満たしていることを確認する	12
2.2.2 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす	12
2.2.3 ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する	12
2.2.4 Oracle Client をインストールおよび設定する	13
2.3 ZENworks レポーティングサーバのインストール	14
2.3.1 インストール情報	15
2.4 ファイアウォールの使用	16
2.4.1 ZENworks レポーティングサーバの設定	17
2.4.2 ファイアウォールルールの指定	18
3 ZENworks レポーティングサーバのアンインストール	19
3.1 GUI モード	19
3.2 コマンドラインモード	19
3.3 サイレントモード	20
A ZENworks レポーティングサーバのインストールのトラブルシューティング	21
A.1 ZENworks レポーティングサーバのエラーメッセージ	21
A.2 ZENworks レポーティングサーバのトラブルシューティング戦略	22

このガイドについて

この『レポーティングサーバインストールガイド』には、Novell® ZENworks® 10 Asset Management SP2 レポーティングサーバを正常にインストールするのに役立つ情報が記載されています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 9 ページの第 1 章「最小要件」
- ◆ 11 ページの第 2 章「ZENworks レポーティングサーバのインストール」
- ◆ 19 ページの第 3 章「ZENworks レポーティングサーバのアンインストール」
- ◆ 21 ページの付録 A「ZENworks レポーティングサーバのインストールのトラブルシューティング」

対象読者

このガイドは、ZENworks レポーティングサーバ管理者を対象にしています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks レポーティングサーバには、製品の概要とその実装方法を説明したその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式) が用意されています。追加のマニュアルについては、『ZENworks 10 Asset Management (<http://www.novell.com/documentation/zam10/>)』を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

最小要件

ZENworks[®] 10 Asset Management SP2 ZENworks レポートニングサーバインストールでは、ZENworks レポートニングサーバをインストールし、ZENworks インフラストラクチャレポートをカスタマイズします。

次のセクションでは、ZENworks レポートニングサーバのハードウェアおよびソフトウェアの最小要件について説明します。

- ◆ 9 ページのセクション 1.1 「ZENworks レポートニングサーバの要件」
- ◆ 10 ページのセクション 1.2 「インストールユーザの要件」

重要: 次のセクションで示されている要件は、すべて最小要件です。したがって、それ以降のサポートパック、中間リリース、ドットリリース、およびそれ以上のバージョン番号が利用可能であることが想定されます。たとえば、Windows Server^{*} 2003 でのプライマリサーバオペレーティングシステムの最小要件は SP1 と示されていますが、SP2 以降もサポートされています。

1.1 ZENworks レポートニングサーバの要件

ZENworks レポートニングサーバをインストールするサーバは、次の最小要件を満たしている必要があります。

- ◆ ZENworks レポートニングサーバをインストールする前に ZENworks 10 Asset Management SP2 がインストールされている必要があります。
- ◆ ZENworks レポートニングサーバは、すべての ZENworks 10 Asset Management SP2 プライマリサーバプラットフォームにインストールできます。詳細については、『[プライマリサーバ要件](#)』の「[ZENworks 10 Asset Management インストールガイド](#)」を参照してください。
- ◆ ハードウェア要件：
 - ◆ RAM:3GB
 - ◆ ディスク容量 :5.6GB
- ◆ サーバの次の TCP ポート上のトラフィックが許可されている必要があります。
 - ◆ ポート 3306。ZENworks レポートニングサーバに組み込まれた MySQL^{*} データベースが使用します。
 - ◆ ポート 6400。ZENworks レポートニングサーバの中央管理サーバが使用します。
 - ◆ ポート 6410。ZENworks レポートニングサーバの Server Intelligent Agent が使用します。
 - ◆ ポート 6420。ZENworks レポートニングサーバの監査ポートです。

1.2 インストールユーザの要件

インストールプログラムを実行するユーザは、デバイスに対する管理権限を持っている必要があります。たとえば、次のようにします。

- ◆ **Windows:** Windows* 管理者としてログインします。
- ◆ **Linux:** root 以外のユーザとしてログインし、`sux` コマンドを使用して権限を root に昇格させてから、インストールプログラムを実行します。

ZENworks レポートティングサーバのインストール

2

ZENworks® 10 Asset Management SP2 ZENworks レポートティングサーバをインストールするには、次のセクションのタスクを実行します。

- 11 ページのセクション 2.1 「ZENworks インストールの理解」
- 11 ページのセクション 2.2 「インストール前のタスク」
- 14 ページのセクション 2.3 「ZENworks レポートティングサーバのインストール」
- 16 ページのセクション 2.4 「ファイアウォールの使用」

警告: 製品のテストと確認の場合、運用環境に ZENworks レポートティングサーバを展開しないでください。

2.1 ZENworks インストールの理解

ZENworks レポートティングサーバは、これまでは ZENworks 10 Asset Management の一部としてインストールしていましたが、本リリースから、独立したインストールメディアからインストールするようになりました。旧バージョンの ZENworks 10 Asset Management からアップグレードすることはできません。ZENworks レポートティングサーバは、ZENworks 10 Asset Management がサポートする言語でインストールできます。インストール時間は、選択した言語数によって異なります。

ZENworks レポートティングサーバは、次のいずれかのインストール方法でインストールできます。

- **GUI(グラフィカルユーザインタフェース):** Windows および Linux サーバの両方で機能する GUI(グラフィカルユーザインタフェース) インストールプログラムはインストール CD で提供されています。詳細については、14 ページの「GUI(グラフィカルユーザインタフェース)のインストール」を参照してください。
- **コマンドライン:** コマンドラインインストールは Linux サーバでのみ利用可能です。詳細については、14 ページの「コマンドラインインストール(Linux のみ)」を参照してください。
- **サイレントモード:** サイレントモードインストールでは、ユーザによる操作は必要ありません。サイレントモードインストールを実行するには、サイレントモード環境設定ファイルを編集し、スイッチを指定してインストールを実行する必要があります。詳細については、14 ページの「サイレントモードインストール」を参照してください。

2.2 インストール前のタスク

次のうち該当するタスクを実行して、14 ページのセクション 2.3 「ZENworks レポートティングサーバのインストール」に進みます。

- 12 ページのセクション 2.2.1 「最小要件を満たしていることを確認する」

- ◆ 12 ページのセクション 2.2.2 「Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす」
- ◆ 12 ページのセクション 2.2.3 「ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する」
- ◆ 13 ページのセクション 2.2.4 「Oracle Client をインストールおよび設定する」

2.2.1 最小要件を満たしていることを確認する

- ◆ サーバソフトウェアをインストールするデバイスが必要な要件を満たしていることを確認します。詳細については、9 ページの第 1 章「最小要件」を参照してください。
- ◆ ポート 6400、3306、6410、および 6420 が空いていることを確認します。これらのポートがビジーの場合、ZENworks レポーティングサーバをインストールする代替ポートを指定するようプロンプトが表示されます。

これらのポートがファイアウォールでブロックされている場合は、ファイアウォールで有効にする必要があります。詳細については、16 ページのセクション 2.4 「ファイアウォールの使用」を参照してください。

- ◆ サーバがネットワークに接続されていることを確認します。
- ◆ Novell ZENworks Server、Novell ZENworks Loader、Novell ZENworks データベースサービスが実行していることを確認してください。

重要: 同じ管理ゾーン内に ZENworks レポーティングサーバの新しいインスタンスをインストールする場合は、新しいインストールを開始する前に、必ず既存のインスタンスのレポートをアーカイブしてください。これは、新規インストールが完了すると、ZENworks レポーティングサーバの既存のインスタンスが動作しなくなり、レポートを一切取得できなくなるためです。アーカイブしたレポートは ZENworks レポーティングサーバの新しいインスタンスに復元できます。

2.2.2 Linux のホスト名およびネットワークの要件を満たす

Linux サーバの場合、インストールスクリプトを実行する前に、固定ホスト名が設定されている必要があります。システムのこの情報を設定または変更するには、root 権限が必要です。詳細については、Linux システムのマニュアルを参照してください。

2.2.3 ISO ダウンロードからインストール DVD を作成する

ZENworks 10 Asset Management SP2 ZENworks レポーティングサーバソフトウェアを ISO イメージダウンロードとして取得した場合、Windows と Linux 用に個別のインストール DVD を作成して、これらのプラットフォームに ZENworks レポーティングサーバをインストールする必要があります。

- 1 ZENworks 10 Asset Management SP2 ZENworks レポーティングサーバインストール ISO イメージを [Novell Web サイト \(http://www.novell.com/\)](http://www.novell.com/) からダウンロードして、一時的に Windows または Linux デバイスの適当な場所にコピーします。
- 2 ISO イメージを DVD に記録します。

Linux では、DVD に記録する代わりに ISO マウントポイントからインストールプログラムを実行することもできます。

2.2.4 Oracle Client をインストールおよび設定する

ZENworks 10 Asset Management SP2 が外部 Oracle*10g データベース用に設定されている場合は、ZENworks レポートングサーバをインストールする前に、Net Configuration Assistant を使用して、ZENworks 10 Asset Management SP2 が使用するものと同じ Oracle データベースに Oracle 10g クライアントをインストールして設定します。Oracle 10g クライアントをインストールするには、[Oracle 10g のマニュアル \(http://www.oracle.com/technology/documentation/database10g.html\)](http://www.oracle.com/technology/documentation/database10g.html) を参照してください。

- 1 ZENworks レポートングサーバをインストールするサーバに、Oracle クライアントをインストールします。Oracle クライアントは、ZENworks Asset Management サーバに設定した外部 Oracle 10g データベースと同じバージョンである必要があります。

- Windows 64 ビットプラットフォームでは、Oracle 10g 32 ビットクライアントをインストールします。ZENworks レポートングサーバは、64 ビット版 Windows プラットフォームでは 32 ビットエミュレーションのみをサポートします。
- Linux64 ビットプラットフォームでは、Oracle 10g 64 ビットクライアントをインストールし、次のコマンドを使用して環境変数 LD_LIBRARY_PATH の値を \$ORACLE_HOME/lib32 に設定します。

```
export LD_LIBRARY_PATH=$ORACLE_HOME/lib32:$LD_LIBRARY_PATH
```

Oracle 10g R2 クライアントは SLES 10 サーバでサポートされていません。Oracle 10g R2 クライアントを SLES 10 SP2 サーバにインストールしたい場合は、Novell Cool Solution の記事「[Installing Oracle 10g R2 Database on SLES 10 \(http://www.novell.com/coolsolutions/appnote/17778.html\)](http://www.novell.com/coolsolutions/appnote/17778.html)」を参照してください。

Oracle クライアントのインストール方法については、『[Oracle Database Client Installation Guide \(http://www.oracle.com/technology/documentation/database10g.html\)](http://www.oracle.com/technology/documentation/database10g.html)』を参照してください。[インストールタイプ] ウィンドウで [Administrator] を選択してください。

重要 : Linux では、Oracle クライアントのインストールディレクトリに全ユーザに対する読み込み/実行アクセス権があることを確認してください。

- 2 (オプション) Linux の場合、Oracle クライアントのインストール後、環境変数 ORACLE_HOME の値が、Oracle クライアントをインストールしたディレクトリのパスに設定されているかどうかを確認します。環境変数 ORACLE_HOME が無い場合は、新しい環境変数として手動で ORACLE_HOME を追加し、その値を、Oracle クライアントをインストールしたパスに設定します。
- 3 TNS_ADMIN 環境変数が正しく設定されていることを確認します。
 - Windows では、tnsnames.ora ファイルがデフォルトの場所 (%ORACLE_HOME%\NETWORK\ADMIN) にない場合、TNS_ADMIN という名前の新しい環境変数を作成します。続いて、この新しい環境変数の値を、それが存在するディレクトリのパスに設定します。
 - Linux では、tnsnames.ora ファイルがデフォルトの場所 (\$ORACLE_HOME/network/admin) にない場合、TNS_ADMIN という名前の新しい環境変数を作成します。続いて、この新しい環境変数の値を、それが存在するディレクトリのパスに設定します。
- 4 \$ORACLE_HOME/bin ディレクトリに移動し、netmgr スクリプトを実行して Oracle Net Manager を開きます。
- 5 Oracle Net Manager を実行する際に、ZENworks の外部 Oracle データベース用に正しいサービスネーミングが設定されていることを確認します。

2.3 ZENworks レポートサーバーのインストール

- 1 次のいずれかの方法を使用して、ZENworks レポートサーバーのインストールプログラムを起動します。

- ◆ GUI(グラフィカルユーザインタフェース)のインストール

1. インストールサーバで、*Novell ZENworks 10 Asset Management with SP2 Reporting Server DVD for Windows* を挿入します。

Windows デバイスでは、DVD を挿入するとインストールが自動的に開始されます。表示されたインストールページから言語を選択することもできます。インストールが自動的に開始されない場合は、DVD を挿入した後に `setup.exe` をルートから実行します。

Linux デバイスの場合は、DVD をマウントして、`sh /media/cdrom/setup.sh` を実行します。

- ◆ コマンドラインインストール (Linux のみ)

1. インストールサーバで、*Novell ZENworks 10 Configuration Management with SP2 Reporting Server Novell ZENworks 10 Asset Management with SP2 Reporting Server DVD for Linux* を挿入します。

2. DVD をマウントします。

3. すべてのユーザ(「others」を含む)が読み込みおよび実行アクセスを持つディレクトリにコマンドラインインストールを開始するには、DVD をマウントするか、または DVD のファイルを一時的に `/root` ディレクトリ以外の適当な場所にコピーします。

コピーしたファイルとその親ディレクトリに、すべてのユーザ(「others」を含む)が読み込みおよび実行アクセスを持つことを確認します。

4. 次のコマンドを実行します。

```
/mount_location/setup.sh -e
```

- ◆ サイレントモードインストール

1. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを作成します。

```
setup.exe/setup.sh -s
```

2. サイレントインストール環境設定ファイルをテキストエディタで開きます。

3. `ADMINISTRATOR_PASSWORD=` を検索します。

4. `$lax.nl.env.ADMIN_PASSWORD$` を実際のパスワードに置き換えます。

たとえば、パスワードが `novell` の場合、エントリは次のようになります。

```
ADMINISTRATOR_PASSWORD=novell.
```

5. サイレントインストール環境設定ファイルを保存して、テキストエディタを終了します。

6. 次のコマンドを使用して、サイレントインストール環境設定ファイルを実行します。

```
setup.exe/setup.sh -s -f path_to_the_silent_install_file
```

- 2 インストール中にインストールに必要なデータの詳細を [15 ページの i2-1§ 「インストール情報」](#) 内の情報で参照してください。

GUI インストールを使用している場合は、[ヘルプ] ボタンをクリックして同様の情報を参照することができます。

コマンドラインの場合は、「back」と入力して <Enter> を押すと、前のインストールオプションに戻って変更することができます。

どちらの場合も、インストールプロセスを完了する手順の一部としてデータベースのアップデートが含まれており、このプロセス中は CPU 使用率が高くなります。このため、サービスの起動が遅くなる可能性があります。

- 3 (オプション) Linux サーバで Oracle データベースを選択した場合は、環境変数 `LD_LIBRARY_PATH` が、`$ORACLE_HOME/lib` または `$ORACLE_HOME/lib32` が含まれるディレクトリのパスに設定されているかどうかを確認します。環境変数 `LD_LIBRARY_PATH` がない場合は、環境変数に追加して、その値を、`$ORACLE_HOME/lib32` が含まれるディレクトリのパスに設定します。`$ORACLE_HOME/lib32` へのパスが有効なパスでない場合は、環境変数の値を、`$ORACLE_HOME/lib` が含まれるディレクトリのパスに設定します。

重要 : ZENworks 10 Asset Management SP2 ZENworks レポートサーバーはメディアからのみインストールできます。ネットワークドライブへマッピングしてインストールすることはできません。

2.3.1 インストール情報

必要な情報がインストールフローの順番でリストに表示されています。

表 2-1 インストール情報

インストール情報	説明
インストールパス	ZENworks レポートサーバーは ZENworks 10 Asset Management SP2 インストールフォルダ <code>%ZENWORKS_HOME%\share\boe(Windows)</code> または <code>\$ZENWORKS_HOME/share/boe(Linux)</code> にインストールされます。

- 前提条件
- ◆ ユーザ名とパスワードを入力するよう、インストーラによってプロンプトが表示されます。この場合、ZENworks ゾーンのスーパー管理者のユーザ名とパスワードを指定します。
 - ◆ インストーラは、ZENworks 10 Asset Management サーバがデバイスにインストールされているかどうかをチェックします。
 - ◆ 資格情報が正しければ、インストーラは、デバイスの空きディスク容量、オペレーティングシステム、システムアーキテクチャなど、その他の前提条件をチェックします。さらに、ZENworks 10 Asset Management (SP2) が Oracle データベースにインストールされている場合、ZENworks レポートングサーバインストーラは、デバイスに Oracle クライアントがインストールされているかどうかをチェックします。Oracle クライアントが見つからなかった場合、エラーが表示され、インストールは終了します。
 - ◆ 必要な前提条件を満たしていない場合、インストールを続行することはできません。満たされていない前提条件は、GUI に表示されるか、コマンドラインに一覧にされます。

重要: ZENworks レポートングサーバのインストール後に認証局 (CA) タイプを変更することはできません。

[デフォルトの復元] ボタンはこのページに最初にアクセスしたときに表示されるパスを復元します。

インストール前の概要 **GUI インストール:** この時点までに入力した情報を変更するには、[前へ] をクリックします。インストールを開始するには、[インストール] をクリックします。

インストールを終了するには、[キャンセル] をクリックします。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。

コマンドラインインストール: この時点までに入力した情報を変更するには、「back」と入力して <Enter> を押します。

インストールを終了するには、<Ctrl>+<C> を押します。インストールをキャンセルした場合、ロールバックは実行されません。

インストールの完了 インストールが正常に完了すると、確認が表示されます。

2.4 ファイアウォールの使用

ZENworks レポートングサーバはファイアウォールシステムと連携動作するため、ネットワークセキュリティを損なうことなく、イントラネットやインターネットの区別なくレポートングを提供できます。

このセクションでは、パケットフィルタリングファイアウォール環境で ZENworks レポートングサーバを設定する方法について説明します。これ以外のタイプのファイアウォール環境における ZENworks レポートングサーバの動作の詳細については、『[BusinessObjects Enterprise XI Release 2 展開設定ガイド](http://support.businessobjects.com/documentation/default.asp) (<http://support.businessobjects.com/documentation/default.asp>)』を参照してください。

デフォルトでは、ZENworks レポートングサーバはコンポーネント間の通信に、ダイナミックに選択されたポート番号を使用します。ZENworks レポートングサーバがファイアウォールを越えて通信できるようにするには、固定アドレスと固定ポートを使用するよ

うにそのコンポーネントを設定する必要があります。さらに、これらの固定アドレスと固定ポートを使用してファイアウォール外部にあるサービスとの通信を許可するようにファイアウォールを設定する必要があります。

次の各セクションでは、詳細について説明します。

- ◆ 17 ページのセクション 2.4.1 「ZENworks レポーティングサーバの設定」
- ◆ 18 ページのセクション 2.4.2 「ファイアウォールルールの指定」

2.4.1 ZENworks レポーティングサーバの設定

Central Management Server だけでなく、ファイアウォール内部にある Central Configuration Manager に一覧にされた ZENworks レポーティングサーバサービスもすべて、固定ポート上でアプリケーションサーバからの通信に回答するように設定する必要があります。

- 1 ZENworks レポーティングサーバで、デスクトップの [スタート] メニュー > [プログラム] > [ZENworks レポーティングサーバ] > [ZENworks レポーティングサーバ] > [Central Configuration Manager] の順にクリックします。
- 2 次のいずれかを実行して、Central Configuration Manager に一覧にされた ZENworks レポーティングサーバサービスを停止します。
 - ◆ ZENworks レポーティングサーバサービスを右クリックして、[停止] をクリックします。
 - ◆ ZENworks レポーティングサーバサービスを選択して、ツールバーの [停止] アイコン (■) をクリックします。
- 3 ツールバーの [プロパティ] アイコン (⊞) をクリックします。
デフォルトで [プロパティ] タブが表示されます。
- 4 [コマンド] オプションで、値に `-requestport port_number` を追加します。 `port_number` には、有効な空きポート番号を指定します。

たとえば、Central Management Server のコマンド値は次のようになります。

```
"\\blr-nrm-r1d\CS\Program Files\Novell\ZENworks\share\boe\BusinessObjects Enterprise  
11.5\win32_x86\CMS.exe" -service -name blr-nrm-r1d.cms -restart -protocol ssl -ssl_certdir "C:\Program  
Files\Novell\ZENworks\conf\security" -ssl_mycertificate "server.der" -ssl_trustedcertificate "ca.der" -  
ssl_mykey "server.key" -ssl_mykey_passphrase "passphrase.txt" -requestport 5601
```

Central Configuration Manager の配下にある各サーバは固有のポート番号を使用する必要がありますが、Central Management Server のポート番号が 6400 以外の値であることを確認してください。

- 5 [OK] をクリックします。
- 6 次のいずれかを実行して、サーバを再起動します。
 - ◆ ZENworks レポーティングサーバサービスを右クリックして、[再起動] をクリックします。
 - ◆ ZENworks レポーティングサーバサービスを選択して、ツールバーの [スタート] アイコン (▶) をクリックします。
- 7 ファイアウォール外部にある各 ZENworks レポーティングサーバサービスに対して、**ステップ 2 ～ステップ 6** を繰り返します。

2.4.2 ファイアウォールルールの指定

ZENworks レポートングサーバと他の ZENworks プライマリサーバ間にファイアウォールがある場合は、インバウンドアクセスルールを指定する必要があります。このルールを指定する方法の詳細については、ファイアウォールのマニュアルを参照してください。

ポート 6400、または [17 ページのセクション 2.4.1 「ZENworks レポートングサーバの設定」](#) の [17 ページのステップ 4](#) で指定したポートで実行されている ZENworks レポートングサーバへは、ZENworks プライマリサーバだけが接続できるようにすることをお勧めします。

次の表は、インバウンドアクセスルールのリストを示しています。

表 2-2 インバウンドアクセスルール

ソースデバイス	ポート	宛先デバイス	ポート	アクション
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks レポートングサーバ (CMS)	6400	Allow
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks レポートングサーバ (CMS)	<code>-requestport</code> を使用して指定したポート番号	Allow
ZENworks プライマリサーバ	すべて	ZENworks レポートングサーバ (その他の ZENworks レポートングサーバサービス)	<code>-requestport</code> を使用して指定したポート番号	Allow
任意のマシン	すべて	ZENworks レポートングサーバ (CMS)	すべて	Reject
すべて	すべて	ZENworks レポートングサーバ (その他の ZENworks レポートングサーバサービス)	すべて	Reject

ZENworks レポートティングサーバの アンインストール

3

管理ゾーン内のプライマリサーバで、まず ZENworks レポートティングサーバをアンインストールしてから ZENworks Configuration Management をアンインストールする必要があります。

注: ZENworks レポートティングサーバは、インストール時と同じモードでアンインストールされます。

たとえば、コマンドラインモードを使用して ZENworks レポートティングサーバをインストールした場合、アンインストールプログラムはサーバをコマンドラインモードのみでアンインストールします。

- ◆ 19 ページのセクション 3.1 「GUI モード」
- ◆ 19 ページのセクション 3.2 「コマンドラインモード」
- ◆ 20 ページのセクション 3.3 「サイレントモード」

3.1 GUI モード

- 1 アンインストールプログラムを起動します。

Windows の場合は、次のコマンドを実行します。

```
%ZENWORKS_HOME%\bin\zrsuninstall.exe
```

Linux の場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall
```

[レポートティングサーバのアンインストール] ページが表示されます。

- 2 [アンインストール] をクリックします。
- 3 アンインストーラは、ゾーン内にアクティブな ZENworks レポートティングサーバがないかどうかをチェックします。
- 4 プロンプトが表示されるので、[はい] をクリックします。
アンインストールが開始されます。
- 5 [アンインストールが終了しました] ページで [完了] をクリックします。

3.2 コマンドラインモード

- 1 アンインストールプログラムを起動します。

Linux の場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall
```

アンインストールが開始されます。

- 2 画面のプロンプトに従って、アンインストールプロセスを完了します。

3.3 サイレントモード

- 1 アンインストールプログラムを起動します。

Windows の場合は、次のコマンドを実行します。

```
%ZENWORKS_HOME%/bin/zrsuninstall.exe
```

Linux の場合は、次のコマンドを実行します。

```
/opt/novell/zenworks/bin/zrsuninstall
```

Windows デバイスで、Windows - %ZENWORKS_HOME%/logs/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log ファイルでログを参照できます。Linux デバイスでは、linux - /var/opt/novell/log/zenworks/ZRSuninstall_dd_mm_yyyy_hh.mm.ss.log ファイルのログを参照できます。

ZENworks レポートティングサーバのインストールのトラブルシューティング

次のセクションでは、Novell® ZENworks® Asset Management レポートティングサーバの操作中に発生する可能性がある問題の解決方法について説明します。

- 21 ページのセクション A.1 「ZENworks レポートティングサーバのエラーメッセージ」
- 22 ページのセクション A.2 「ZENworks レポートティングサーバのトラブルシューティング戦略」

A.1 ZENworks レポートティングサーバのエラーメッセージ

このセクションでは、ZENworks レポートティングサーバの使用時に表示される可能性があるエラーメッセージの一部を詳細に説明します。

- 21 ページの「レポートティングサーバのインストールは失敗しました。詳細はインストールのログファイルを参照してください」
- 21 ページの「ZENworks レポートティングサーバのアンインストールは失敗しました」

レポートティングサーバのインストールは失敗しました。詳細はインストールのログファイルを参照してください

ソース： ZENworks 2 Asset Management SP2; ZENworks レポートティングサーバ。

説明： これは間違ったエラーメッセージで、レポートティングサーバが正常にインストールされても表示されます。

アクション： このエラーメッセージは無視してください。

ZENworks レポートティングサーバのアンインストールは失敗しました

ソース： ZENworks 10 Configuration Management SP2; ZENworks レポートティングサーバ。

考えられる原因： Novell ZENworks ロードサービスが、アンインストールプロセスの最後で再起動に失敗しました。

アクション： Novell ZENworks ロードサービスを手動で再起動します。

A.2 ZENworks レポートینگサーバのトラブルシューティング戦略

このセクションでは、ZENworks 10 Configuration Management レポートینگサーバの使用時に発生する可能性がある問題の解決策について説明します。

- ◆ 22 ページの「ZENworks レポートینگサーバサービスのデバッグログを有効にする方法」
- ◆ 22 ページの「BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所」
- ◆ 22 ページの「ZENworks レポートینگサーバのログファイルの場所」
- ◆ 23 ページの「ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポートینگサーバの仮想マシンへのインストールが失敗する」
- ◆ 23 ページの「ZENworks レポートینگサーバを削除した後も、ZENworks レポートینگサーバを削除できないというメッセージが表示される」

ZENworks レポートینگサーバサービスのデバッグログを有効にする方法

ソース：ZENworks 2 Asset Management SP2; ZENworks レポートینگサーバ。

アクション：ログを有効にするには、Novell Support Knowledgebase (http://support.novell.com/search/kb_index.jsp) の TID 3418069 を参照してください。

BusinessObjects Enterprise ログファイルの場所

ソース：ZENworks 2 Asset Management SP2; ZENworks レポートینگサーバ。

アクション：ZENworks レポートینگサーバインストールのログファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合：

%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging\BOEInstall_0.log

Linux の場合：

/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/install_timestamp.log

ZENworks レポートینگサーバトレースファイルは、次の場所にあります。

Windows の場合：

%zenworks_home%\share\boe\Business Objects Enterprise 120\logging

Linux の場合：

/opt/novell/zenworks/share/boe/bobje/logging/

ZENworks レポートینگサーバのログファイルの場所

ソース：ZENworks 2 Asset Management SP2; ZENworks レポートینگサーバ。

アクション: ZENworks レポートینگサーバを GUI(グラフィカルユーザインタフェース) インストーラ経由でインストールした場合、インストールログは次の場所にあります。

◆ **Windows の場合:**

- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks Reporting Server_*date time*.log.xml
- ◆ %zenworks_home%\logs\wdeploy-*date-time*.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

◆ **Linux の場合:**

- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/ZENworks Reporting Server_*date time*.log.xml
- ◆ /var/opt/novell/log/zenworks/wdeploy-*date-time*.log
- ◆ %zenworks_home%\logs\ZENworks_Reporting_Install_CheckOracleClient_dd_MM_yyyy_HH-mm-ss.log

ホストマシンにその仮想マシンの CD-ROM としてマウントされた ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを使用した場合、レポートینگサーバの仮想マシンへのインストールが失敗する

ソース: ZENworks 10 Asset Management SP2; ZENworks レポートینگサーバ。

アクション 1: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを仮想マシンのディレクトリに展開し、そのディレクトリから ZENworks レポートینگサーバのインストールを実行します。

アクション 2: ZCM_REPORTING_10.x.0.iso ファイルを DVD にコピーし、これを使用して ZENworks レポートینگサーバを仮想マシン上にインストールします。

ZENworks レポートینگサーバを削除した後も、ZENworks レポートینگサーバを削除できないというメッセージが表示される

ソース: ZENworks Asset Management SP2; ZENworks レポートینگサーバ。

アクション: このエラーメッセージは無視してください。[完了] をクリックして、[アンインストールが完了しました] ウィンドウを閉じます。

